

学校だより



平沼

令和3年1月6日
横浜市立平沼小学校



Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranuma/>

陽転思考で乗り切りましょう

校長 長谷川 絹子



明けましておめでとうございます。

昨年度の今頃は、オリパラ開催にふさわしい穏やかな年明けだと、明るい予感にわくわくしていましたが、コロナ禍はじわりじわりと迫ってきており、未曾有の厳しい一年となってしまいました。学校教育も混乱の中で、できること、できないことを見極めながら、子どもたちの学びの充実に努め、ご家庭、地域の皆様にも支えていただきながら進めることができました。

今年は無年。「丑」は「紐」で、芽が種子の中から出かかっている、表面に出てきていない状態を表しているのだそうです。また、牛は古くから大変な農作業を最後まで手伝うその勤勉な働きぶりから、丑年は「我慢」「よいこと（芽が出る）が起きる前触れ」で新しくなろうとしている年になると言われているそうです。7日には4都県に緊急事態宣言が発出されるという現状ではありますが、頑張って乗り切り、今年はきっと医療も経済も学校も好転する年になると信じています。2021年が保護者の皆様、地域の皆様にとりましてよき年になりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、ある講演会で、「創造的な頑張り」を育てるためのキーワードは「プラスの意識」「好奇心・集中」「目的意識」「くり返す」「本当の理解」だということをお聞きしました。外で働いている大人は、帰宅したら開口一番「今日の仕事は楽しかった！早く明日にならないかな、早く仕事をしたいな！」と子どもの前で言うべきで（多くの大人はつい、反対のことを言っていないでしょうか…）、なぜなら、子どもに、社会に出ることを楽しみにさせる、明るい将来をイメージさせることが大切だからです。人間はもともとマイナス思考の脳になっているのですが、マイナス思考では脳は動かないため、意図的にプラス思考にしていく「陽転思考」が、日々の生活の中で重要だそうです。危機に面したときに「困った、もうどうしようもない」「〇〇が悪い、自分の責任ではない」などと考えてしまいがちですが、それでは何の解決にもなりません。そんなときこそ前向きに、さらによりよくするための方策を考えたり、人とのつながりを強くしたりしていくことができるチャンスだととらえたときこそ、創造的な頑張り（集中力）が発揮されると納得しました。

油断のできない厳しい状況ではありますが、こんな時だからこそ、子どもたちが、プラス思考を身に付け、夢に向かって目を輝かせながら力を発揮し、成長していく姿がたくさん見られる年になるように子どもたちに寄り添い、一人ひとりを大切にする教育を全職員で取り組んでいきます。

本年もご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いたします。